



知念 富信 議員

南風原南・北インター チェンジ付近へ ホテル誘致を

答 地区計画等による都市整備が必要となる

問 南風原南・北インターチェンジ付近は、今後、発展が見込まれる。地主の意向を調査したことはあるか。

副町長 南風原町の重要な拠点であり、土地利用については大きな課題ととらえている。一部は個別に訪問し、意向調査を実施した。

問 南風原南・北インターチェンジ付近の農業白地区域に建築許可に関する諸条件はあるか。

副町長 農振白地区域において、地域住民に利用される建築物等は、一定の制限のもと建築可能である。一方で、ホテル建設は、市街化区域の第2種住居地域や商業地域等で建設可能となる。

問 平成32年開業予定の「与那原町、西原町地区MICE施設」に関連して、南風原南北インターチェンジ周辺にホテル関係者が興味を示しているという。区域区分見直し

を含め、誘致に向けて取り組むべきではないか。

副町長 南風原町総合計画では、南インター周辺が新規産業集積ゾーン、北インター周辺が商業広域ゾーンと位置付けている。本年度の区域区分見直しで、市街化区域編入を県に要望した。新市街地の編入は地区計画等による都市整備が必要となる。

**宮平土地改良区境界に
用排水路設置を**

問 宮平土地改良区は、南北に傾斜となっており、境界部分が削られて溝ができていく。溜まり場もあり、環境が悪い。用排水路設置ができないか。

経済建設部長 宮平土地改良区の事業完了後の排水処理と畑地の維持管理は地主が行うべきと考える。そのため町による畑地間への排水路設置は困難である。地権者を集めて対策を話し合いたい。

問 宮平学校線の宮平向け右側の道路沿いを、農振地域除外するよう以前から議会等で要望している。現状はどうなっているか。

経済建設部長 平成24年度に農業振興地域整備計画の総合見直しで、宮平学校線の両側を除外するように要望した。左側は市街化区域に囲まれているので了解が取れた。右側は優良農地のため県から見直しできないと聞いている。



農振除外を要望している箇所